



手動によるエンドユーザのプロビジョニング

- [エンドユーザの手動プロビジョニングの概要, 1 ページ](#)
- [エンドユーザの手動プロビジョニングの前提条件, 1 ページ](#)
- [一括管理を使用したエンドユーザのインポート, 2 ページ](#)
- [手動エンドユーザ設定のタスク フロー, 2 ページ](#)

エンドユーザの手動プロビジョニングの概要

LDAP ディレクトリからエンドユーザをインポートしない場合は、次のいずれかの方法で、Cisco Unified Communications Manager データベースにエンドユーザを追加できます。

- 一括管理ツールを使用したインポート
- 新しいユーザの手動での追加

エンドユーザの手動プロビジョニングの前提条件

エンドユーザをインポートする前に、エンドユーザの権限、アクセス制御グループ、クレデンシャル ポリシーを計画して設定します。

- [ユーザ アクセス設定のタスク フロー](#)
- [クレデンシャル ポリシーの設定タスク フロー](#)

一括管理を使用したエンドユーザのインポート

一括管理ツールを使用して、多数のエンドユーザ、電話、およびポートのインポートや更新を含め、Cisco Unified Communications Manager データベースに対する、大量のトランザクションを単一のプロセスで実行できます。一括管理ツールでは、エンドユーザリストおよびエンドユーザ設定を CSV ファイルからデータベースにインポートできます。

一括管理ツールを使用してエンドユーザをインポートする方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド』を参照してください。

手動エンドユーザ設定のタスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	新規エンドユーザの追加、(3 ページ)	データベースに新しいエンドユーザを手動で追加します。
ステップ 2	アクセスコントロールグループへのエンドユーザの割り当て、(3 ページ)	必要な権限を備えたアクセスコントロールグループをプロビジョニングするローカルエンドユーザを割り当てます。ローカルユーザには、手動でプロビジョニングされたエンドユーザと、一括管理ツールを使用してインポートするエンドユーザが含まれています。ローカルユーザには、エンドユーザ設定で「アクティブローカルユーザ」のユーザステータスがあります。
ステップ 3	エンドユーザへのクレデンシャルポリシーの適用、(4 ページ)	これはオプションです。デフォルトのクレデンシャルポリシーが、このエンドユーザに適用できるかどうかを確認します。適用できなければ、エンドユーザ PIN またはパスワードにクレデンシャルポリシーを適用します。
ステップ 4	ローカルエンドユーザへの機能グループテンプレートの割り当て、(5 ページ)	エンドユーザに機能グループテンプレートを割り当てます。機能グループテンプレートを割り当てると、システムはエンドユーザにその機能グループテンプレートに関連付けられているユーザプロファイル、サービスプロファイル、ユニバーサル回線とデバイステンプレート、セルフプロビジョニング設定を割り当てます。

新規エンドユーザの追加

Cisco Unified Communications Manager のデータベースに新しいエンドユーザを手動で追加するには、次の手順を使用します。

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
 - ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ 3 [エンドユーザ設定 (End User Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。
 - ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[アクセスコントロールグループへのエンドユーザの割り当て, \(3 ページ\)](#)

アクセスコントロールグループへのエンドユーザの割り当て

アクセスコントロールグループにユーザを割り当てるには、次の手順を使用します。LDAP 同期中にアクセスコントロールグループに割り当てた LDAP 同期ユーザに、次の手順を使用して追加のアクセスコントロールグループを割り当てることができます。この手順は、LDAP 同期設定に共通のアクセスコントロールグループがあっても、一部のユーザに権限に応じた追加のアクセスコントロールグループを割り当てる必要がある場合に便利です。

はじめる前に

[新規エンドユーザの追加, \(3 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [アクセスコントロールグループ (Access Control Group)] を選択します。
 - ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックし、アクセスコントロールグループを選択します。
 - ステップ 3 [グループにエンドユーザを追加 (Add End Users to Group)] をクリックします。
 - ステップ 4 [ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ポップアップで、グループに追加するエンドユーザを選択します。
 - ステップ 5 [選択項目の追加 (Add Selected)] をクリックします。
 - ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。
-

関連トピック

[権限とアクセス コントロール グループの設定](#)

エンドユーザへのクレデンシャルポリシーの適用

設定されたクレデンシャルポリシーを特定のエンドユーザパスワードまたはエンドユーザの暗証番号に適用します。デフォルトのクレデンシャルポリシーから更新を行う必要がある場合に、この操作が必要になることがあります。



(注) また、アプリケーションユーザパスワードにクレデンシャルポリシーを適用することもできます。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』を参照してください。

はじめる前に

[クレデンシャルポリシーの設定タスクフロー](#)

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックしてエンドユーザを選択します。
- ステップ 3 クレデンシャルポリシーを適用するクレデンシャルに応じて、パスワードまたは暗証番号に対応する [クレデンシャルの編集 (Edit Credential)] ボタンをクリックします。
- ステップ 4 [認証ルール (Authentication Rule)] ドロップダウンリストボックスから、適用するクレデンシャルポリシーを選択します。
- ステップ 5 [クレデンシャルの設定 (Credential Configuration)] ウィンドウのその他のフィールドに入力します。フィールドとその設定に関するヘルプは、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

関連トピック

[クレデンシャルポリシーの設定](#)

ローカルエンドユーザへの機能グループテンプレートの割り当て

ローカルエンドユーザに機能グループテンプレートを割り当てます。ローカルエンドユーザとは、データベースに手動で追加された、または一括管理ツールを使用してインポートされたエンドユーザです。ローカルエンドユーザは外部 LDAP ディレクトリと同期されません。

はじめる前に

[機能グループテンプレートの設定](#)

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] > [ユーザ/電話のクイック追加 (Quick User/Phone Add)] を選択します。
 - ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックしてエンドユーザを選択します。
 - ステップ 3 [機能グループテンプレート (Feature Group Template)] ドロップダウンリストボックスから、このエンドユーザに設定した機能グループのテンプレートを選択します。
 - ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
-

